

[REAL TIMES は外国人地震情報センターが発信する、外国人支援者向け情報誌です。]
外国人地震情報センター：文責 田村 TEL: 06-941-4793 FAX : 06-941-5875

■おもな出来事 (95.6.21.~6.30.)

- | | | |
|------------------------|-------|------------------|
| 1. 第17回 地元NGO/外国人救援ネット | 6.27. | 中山手カトリック教会 |
| 2. 外国人被災者支援連絡協議会 | 6.28. | KCC会館 |
| 3. 外国人地震情報センター第2回総会 | 6.30. | アピオ大阪
(全2ページ) |

■外国人地震情報センター第2回総会■

6月30日(金) 18:30~、大阪府立労働センター(JR森ノ宮)にて外国人地震情報センターの第2回総会を行った。

外国人地震情報センターのこれまでの活動をふりかえり、多言語・多文化の特性を生かした新しい活動をめざすことを確認した。約6カ月の活動の中から、情報収集や電話対応の難しさ、翻訳作業の苦労など、ボランティアが中心となって報告、スタッフからはコーディネートのまずさを反省する声があがった。

これらの反省点を生かして7月以降の活動では、活動の支えとなる会員を広く募り、運営の主体として誰でも参加できる運営委員会をおくこととした。運営委員会が決定したプロジェクトはプロジェクトごとにチームを作り、独自の運営体制でプロジェクトの実施に当たることなど、「多文化共生」をめざす幅広い取り組みを行う体制へと移行する。7月・8月を移行準備期間とし、会則の制定やプロジェクトの詳細などについて協議、9月の新組織発足をめざす。

外国人地震情報センターでこれまで行ってきた活動の内、「母国語ホットライン」は震災の枠を超えた生活相談窓口として存続、「ニューズレター」は医療費肩代わり基金など、震災関連の情報が発生次第、逐次配布するチラシ形式と、言語ごとで発行可能なものは生活情報誌としての観光の可能性を探る。被災地への通訳派遣などによる支援活動の他、外国人被災者支援のためのネットワークや「REAL TIMES」などを通じての問題提起、行政交渉等も継続して行っていく。

今後の活動へ向け、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■外国人住民・ケースワーカーのための連続セミナーのお知らせ■

外国人地震情報センターでは、下記の日程で連続セミナーを開いています。ご関心のある方は是非お越し下さい。

- | | | | |
|-----|----------|------------|--------------------|
| 第1回 | 7月3日(月) | 入管法の基礎知識 | 古屋 哲 (RINK事務局長) |
| 第2回 | 7月10日(月) | 女性・子どもの人権 | 森木和美 (国際結婚を考える会) |
| 第3回 | 7月17日(月) | 震災と外国人 | 田村太郎 (外国人地震情報センター) |
| 第4回 | 7月24日(月) | 外国人労働者と労働法 | 金築 清 (ユニオンひごろ) |
| 第5回 | 7月31日(月) | 医療・保険窓口の実務 | 岩田 (葉の花診療所) ほか。 |

・場所：外国人地震情報センター(地下鉄「谷町4丁目」下車5分。)

・時間：午後6時30分~午後8時30分

第17回地元NGO／外国人救援ネット

6月27日、中山手カトリック教会にて外国人救援ネットの第17回会議が行われた。

★肩代わり基金のその後：2

募金の問い合わせ窓口である地元NGO連絡会議事務所には記者会見後問い合わせがいくつかあった。現在基金の残高は¥3,050,327.-（6月27日現在）。

入金後、領収書や帳簿の管理など雑務が多くなってきた。

支給は現在、兵庫県が「復興基金」からの医療機関への未収金全額補填を検討中であることから、まず国外で発生している医療費の肩代わりからスタートする。ペルー人で帰国後も人工透析が続いているケースで、かかる費用の計算をしている。書類がそろい次第支給の方針。そのほか情報センターにも2件問い合わせがあり、避難所生活者ですでに借金をして治療を続けているケースも、避難所を巡回する中山手教会のボランティアの活動の中から報告された。今後もまだ私たちが知らないケースが出てくる可能性があり、引き続きチラシ配布など、被災地での広報活動が必要。

基金の受付口座は救援ネットと同じ。郵便振替 01100-2-60701 外国人救援ネット

★弔慰金

医療費については肩代わり基金が始まったことや、県が動き出したことから、状況が改善する方向が見えてきたが、弔慰金はこう着したまま。現在支給がされないとされている3ケースについて、7月6日の県・市との交渉で何らかの可能性が見出せなければ、最後通告を出して記者発表をしよう、との方向でまとまった。

★神戸センターについて

神戸に支援センターを、との動きが肩代わり基金と前後して出てきているが、その可能性について様々な意見が出された。ハード面では、場所は中山手教会で電話回線と机がひとつなら問題ない。ソフト面で人の手配、専従スタッフを置くのか、通訳はそろえるのか、対応できるだけの専門知識はあるのか、など、クリアしなければならない課題がある。

そこで、まず外国人救援ネットの事務局としてスタートし、電話回線を引き、対応できるところから徐々に活動をはじめることにした。相談窓口を恒久的には始める前に、2日間だけ集中相談日を設けて様子を見ることにした。

8月1日（火）、2日（水）の両日。詳しい内容については次回決定する。

★南駒栄公園の近況

紙の素材を使ったログハウスのモデルハウスが6月24日に建った。道路に近く、住環境の悪い場所からの環境改善をめざして、建設地の調整をしている。

次回外国人救援ネットは、7月6日（木）午後3時から、
中山手カトリック教会にて。

■国籍法に関する勉強会 8月2日（水）■

JFC（ジャパニーズ・フィリピン・チルドレン）などで注目される事の多い、国籍法に関する勉強会を行います。講師は外国人地震情報センターの代表でもあり、長年外国人の人件問題に取り組んできた弁護士丹羽雅雄（RINK代表）です。参加費は300円。場所は外国人地震情報センター（谷町4丁目）、午後7時から9時まで。